

仕事の誤解

×マイペースでやれば成果はついてくると思うのは誤解だ！

仕事には、必ず相手がいる。ビジネス関連の作家・評論家として第一人者の佐高信氏はこう言う「仕事は、相手のためにするものである。趣味は自分のためにするものである。働くとは、はたをらくにすることである。」と。なるほどと、うなずける。

※ 「福の神」OK 「貧乏神」NO

マイペースではなく、相手を意識した仕事とは、どのような事を指すのだろうか？「福の神対応」と「貧乏神対応」という興味深い言葉がある。

福の神対応: 相手中心で相手に満足を与える姿勢

貧乏神対応: 自分中心で相手に不満を与える姿勢

これは、セールスの世界で「あなたが来るとハイの気分になれる」とお客様に喜ばれる営業マンの事を「福の神セールス」と言い、「あなたが来るとローの気分になる」と訪問を拒絶される営業マンの事を「貧乏神セールス」と言うことからきている。

セールスに限ったことではない。言うまでもなく、どんな職種でも「福の神対応」をすれば仕事は順調に進む。逆に相手は理屈や合理性だけで動くものではない。ましてや傲慢な強権的態度を快く思うはずがない。これに陰気・仏頂面・ノルマが付けば「貧乏神対応」も最高潮で、相手はまったく顔も見るともイヤになる。

※ 5つの初心

福の神の仕事姿勢を打ち出すポイントを5つあげてみたい。

「福の神対応」ができる5つの初心

【相手中心】

マイペースで自分中心でなく、相手中心

【明るく】

真の大人とは明るく陽気に振る舞えること

【顔に表情・声をしっかり】

一生懸命・真剣さは表情で伝わる。歯切れよく語尾をハッキリ。

【「教えてください」】

分からないことを素直に聞く姿勢と勇気。

【ケジメをつける】

ルール・約束事を守る。

1) 佐高真氏は何と言っていますか？

()

2) 福の神対応とは…()

貧乏神対応とは…()

3) 福の神対応ができる5つの初心とは？

() ()

() ()

() ()



(社員教育用)